

目 次

(本文)

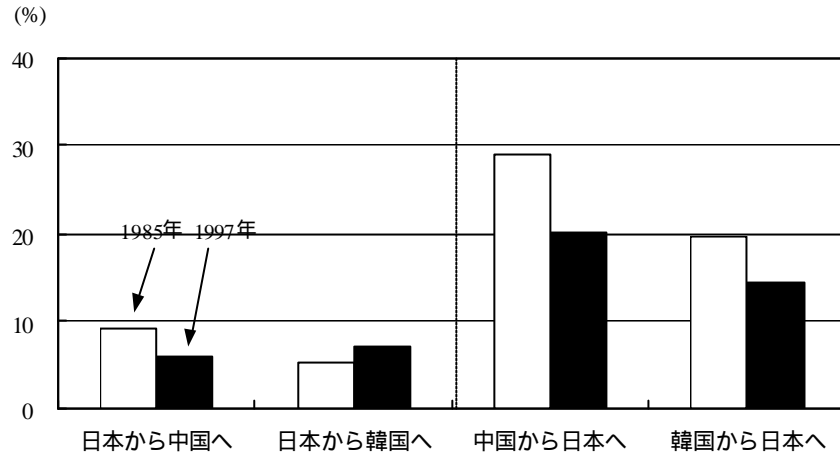
図表 1 - 1	日中韓の間の貿易の動向	1
図表 1 - 2	輸出結合度の動向	2
図表 1 - 3	中韓の対内直接投資総額に占める日米欧のシェア	3
図表 1 - 4	二国間の輸出量に影響を与える要因	4
図表 1 - 5	二国間貿易の実績値・推計値の比較	5
図表 1 - 6	直接投資ストックの動向	6
図表 1 - 7	電気機械産業における産業内貿易指数と対外直接投資の関係	7
図表 1 - 8	運輸インフラの整備状況	8
図表 1 - 9	相互補完性指数の動向	9
図表 1 - 10	日中韓における比較優位構造の変化(対世界 R S C A)	10
図表 1 - 11	日中韓の産業内貿易指数の動向	12
図表 1 - 12	二国間の直接投資に影響を与える要因	13
図表 1 - 13	政治的安定性	14
図表 1 - 14	対外直接投資の GDP 比率	14
図表 2 - 1	貿易自由化(日中韓)の GDP、貿易、経済厚生への効果	15
図表 2 - 2	貿易自由化(日中韓)の輸出結合度への効果	16
図表 2 - 3	貿易自由化(日中韓)の日本の二国間貿易収支への効果	17
図表 2 - 4	アメリカ・メキシコ間における対外直接投資の動向	18

(補論)

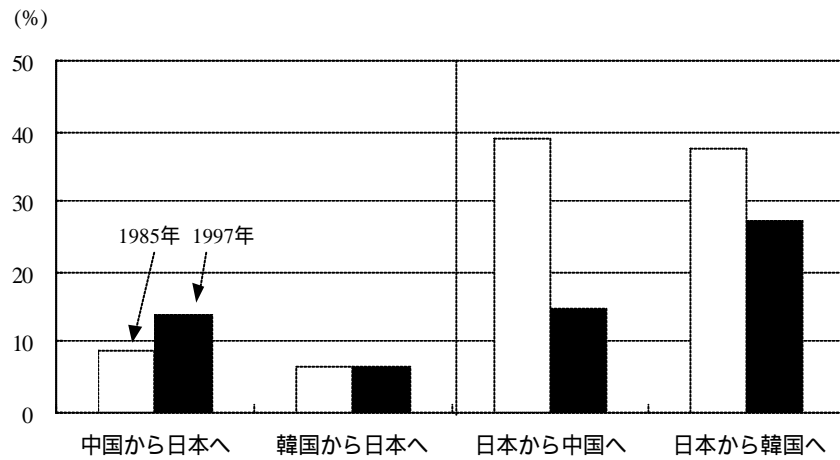
図表 A - 1	留学生(高等教育レベル)の動向	19
図表 B - 1	貿易自由化(日本・シンガポール)の GDP、貿易、経済厚生への効果	20
図表 B - 2	貿易自由化(日本・シンガポール)の日本の二国間貿易収支への効果	21

図表 1 - 1 日中韓の間の貿易の動向

1. 日本の輸出総額に占める中韓のシェア、中韓の輸出総額に占める日本のシェア



2. 日本の輸入総額に占める中韓のシェア、中韓の輸入総額に占める日本のシェア



(備考) 1. IMF “ Direction of Trade Statistics Yearbook ” 等により作成。

2. 世界計は、東アジア、NAFTA、EU より構成されている。

図表 1 - 2 輸出結合度の動向

1. 1985 年

輸出元	輸出先 東アジア							NAFTA	EU	世界
	日中韓	日中韓			NIEs	ASEAN4				
		日本	中国	韓国						
東アジア	1.7	1.6	1.4	2.0	1.6	2.0	1.9	1.1	0.2	0.8
日中韓	1.7	1.3	0.8	2.1	2.0	2.3	1.7	1.3	0.3	0.9
日本	1.5	1.2	-	2.9	2.8	1.9	1.9	1.5	0.3	0.9
中国	3.8	2.5	4.4	-	-	7.5	1.3	0.4	0.2	1.0
韓国	1.7	1.7	3.0	-	-	1.7	1.6	1.6	0.3	1.0
NIEs	2.1	1.9	1.4	3.7	0.8	1.6	3.8	1.3	0.3	0.9
ASEAN	3.2	3.6	5.3	0.5	2.4	3.1	1.8	0.7	0.3	1.0
NAFTA	0.8	0.9	1.2	0.4	1.0	0.5	0.5	1.2	0.3	0.7
EU	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.8	0.5

2. 1997 年

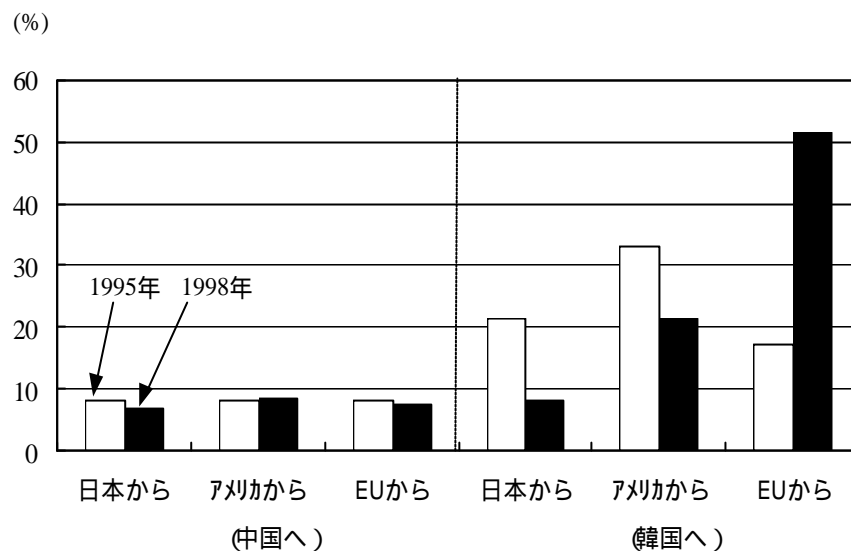
輸出元	輸出先 東アジア							NAFTA	EU	世界
	日中韓	日中韓			NIEs	ASEAN4				
		日本	中国	韓国						
東アジア	1.4	1.3	1.1	1.7	1.2	1.5	1.5	0.7	0.3	0.7
日中韓	1.7	1.3	1.0	1.2	1.9	2.1	1.8	0.9	0.3	0.9
日本	1.6	1.0	-	1.4	2.6	1.9	2.3	1.2	0.4	0.9
中国	2.1	1.9	3.1	-	2.1	3.2	0.7	0.8	0.3	1.0
韓国	2.1	2.1	2.2	3.3	-	2.1	2.3	0.8	0.3	1.0
NIEs	1.9	2.1	1.2	4.2	0.9	1.4	2.2	0.8	0.3	0.9
ASEAN	2.0	1.9	2.9	0.8	1.5	2.4	1.3	0.8	0.4	0.9
NAFTA	0.6	0.8	1.0	0.3	0.9	0.5	0.5	1.5	0.3	0.7
EU	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	0.6

(備考) 1. IMF “Direction of Trade Statistics Yearbook” により作成。

2. 輸出結合度指数は、 $I_{ij}=(X_{ij}/X_i)/(M_j/(M_w-M_i))$ により算出。ここで (X_{ij}/X_i) は、i 国の総輸出に占める j 国の割合、 $(M_j/(M_w-M_i))$ は、i 国を除く総世界輸入に占める j 国の割合を示す。

3. 世界計は東アジア、NAFTA、EU より構成されている。

図表 1 - 3 中韓の対内直接投資総額に占める日米欧のシェア



(備考) IMF “ Balance of Payments Statistics Yearbook “ 等により作成。

図表 1 - 4 二国間の輸出量に影響を与える要因

(1995 年)

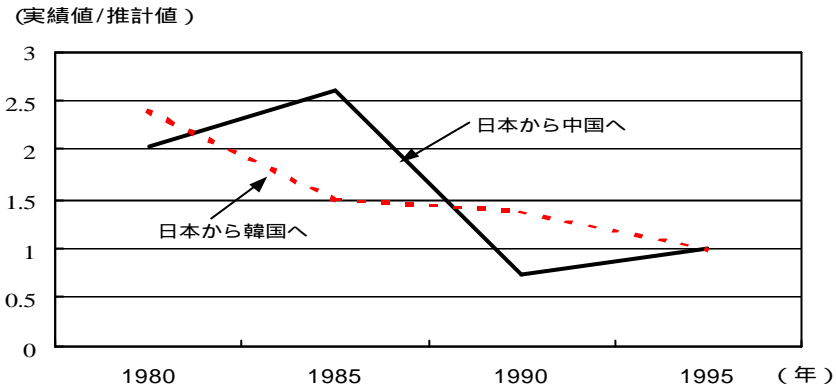
説明要因		推計 A	推計 B	推計 C
経済規模	輸出国の GDP	+	+	+
	輸入国の GDP	+	+	+
近接性	二国間の距離	-	-	-
	二国とも同一言語	+	+	+
地域協定	二国とも ASEAN メンバー	+		
直接投資	輸出国から輸入国への直接投資累計額		+	+
	輸入国から輸出国への直接投資累計額		+	+
インフラ	輸出国における水上運輸施設の充実度		+	
	輸入国における水上運輸施設の充実度		+	
	輸入国における道路網密度			+
比較優位等	相互補完性指数	+	+	+

(備考) 1. 詳細な推計結果は参考資料 2 を参照。

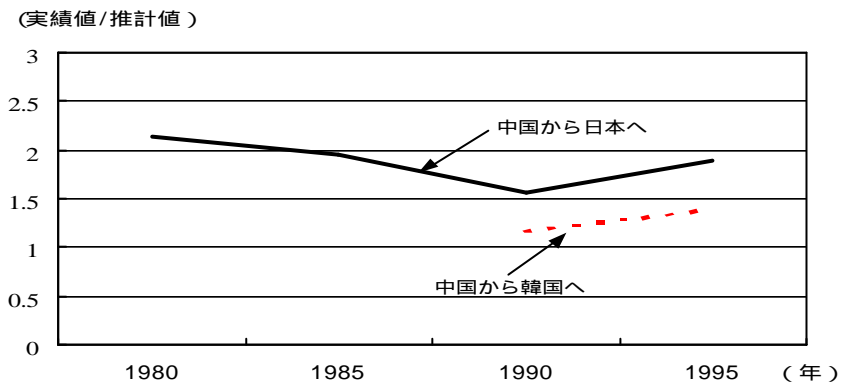
2. 「+」は輸出に対して正、「-」は負の影響がある。推計に用いなかったか、もしくは用いたが符号が一定でなかった又は統計的に有意な関係がなかった変数の個所は空欄としている。

図表 1 - 5 二国間貿易の実績値・推計値の比較

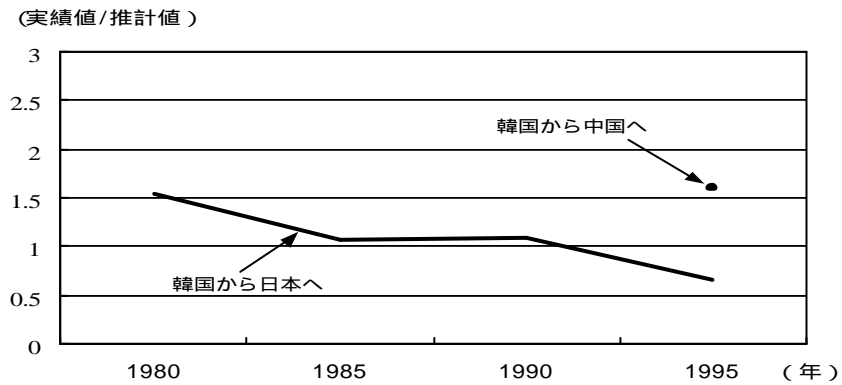
1. 日本からの輸出



2. 中国からの輸出



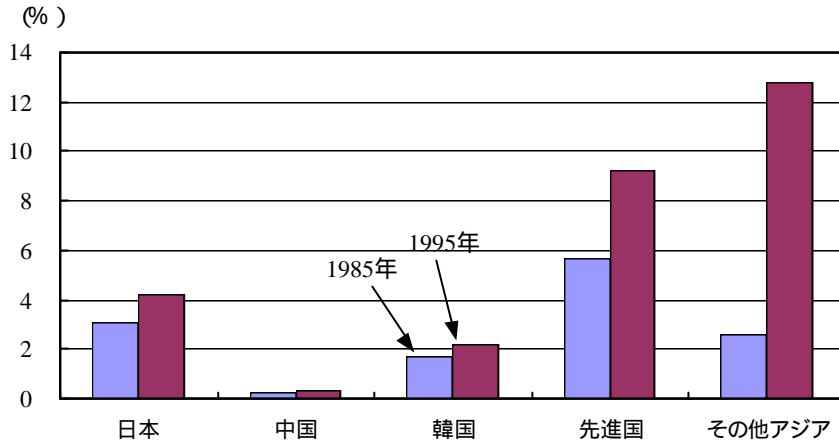
3. 韓国からの輸出



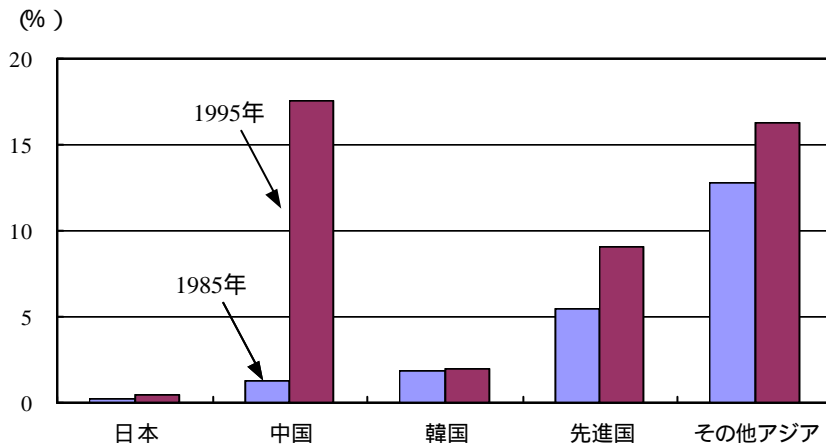
- (備考) 1. 詳細な推計結果は参考資料 2 を参照。
 2. 1980・1985 年の中国から韓国への輸出実績、1980・1985・1990 年の韓国から中国への輸出実績のデータは公表されていないため不明である。

図表 1 - 6 直接投資ストックの動向

1. 対外直接投資累計額

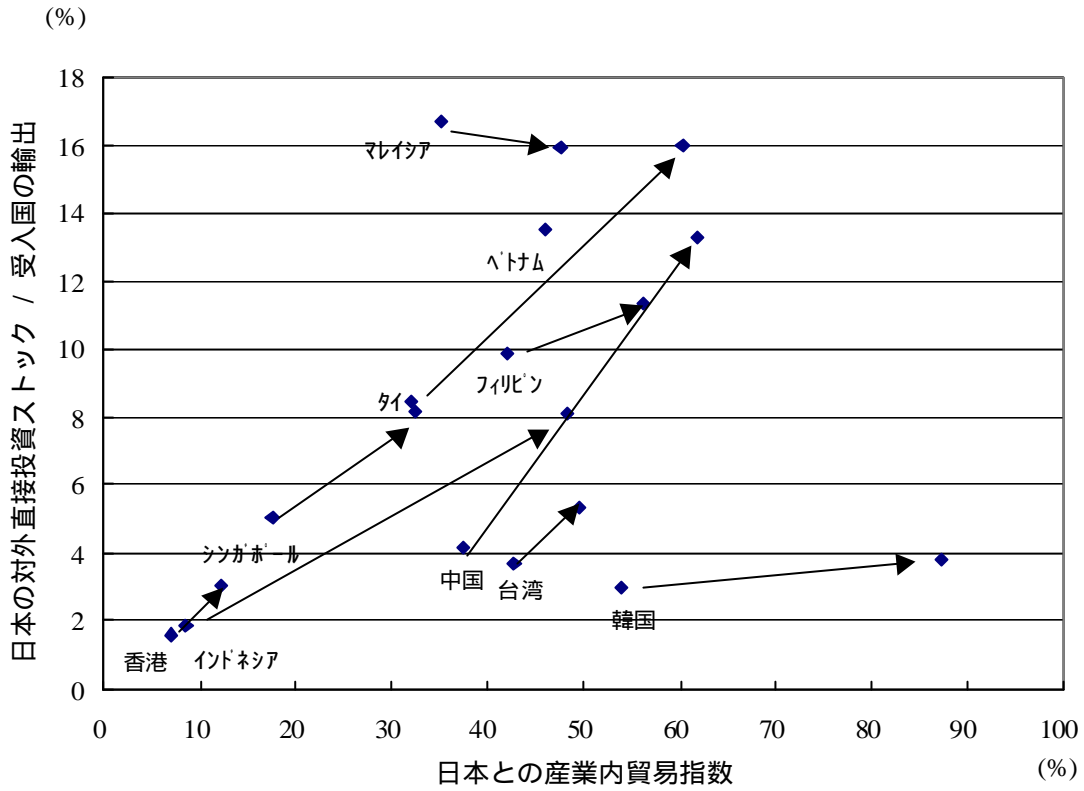


2. 対内直接投資累計額



- (備考) 1. IMF “ Balance of Payments Statistics Yearbook “ 等により作成。
 2. 自国の GDP に占める比率である。
 3. 先進国は NAFTA (メキシコ除く) 及び EU、その他アジアは NIEs (韓国除く) 及び ASEAN4 より構成されており、それぞれの値は単純平均である。

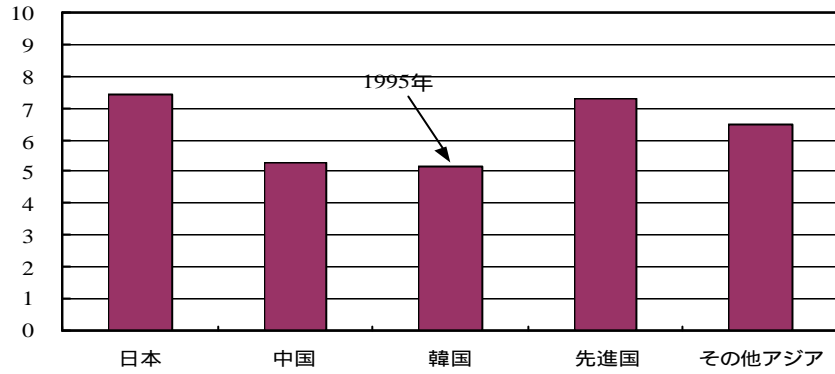
図表 1 - 7 電気機械産業における産業内貿易指数と対外直接投資の関係



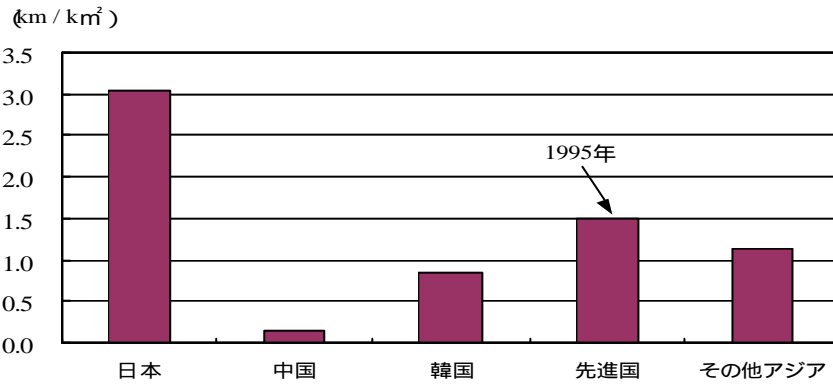
- (備考) 1. 産業内貿易指数は OECD “International Trade by Commodity Statistics, CD-ROM “、日本貿易振興会 (アジア経済研究所) 「AIDXT データベース」、受入国総輸出額は World Bank “World Development Indicators, CD-ROM “、Asian Development Bank “Key Indicators 2000 “ により作成。
 2. 日本からの対外直接投資ストックは大蔵省 「財政金融統計年報」 により作成。
 3. 1990 年のベトナムのデータは公表されていないため、1997 年の実績値のみを表示している。

図表 1 - 8 運輸インフラの整備状況

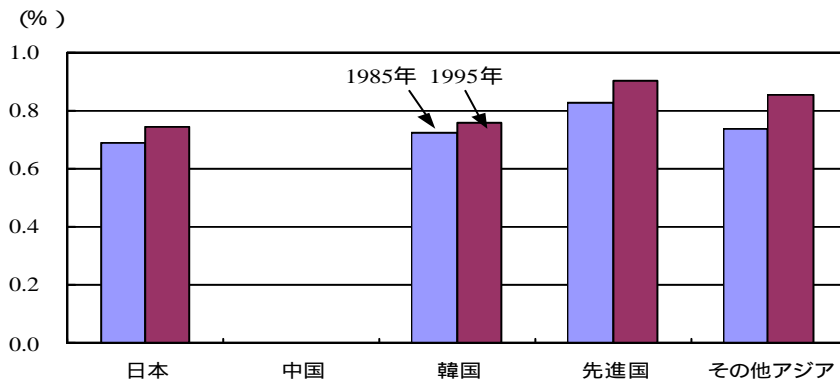
1. 水上輸送インフラ



2. 道路網密度



3. 道路舗装率



(備考) 1. 水上輸送インフラ及び道路網密度は International Institute for Management Development, “ The World Competitiveness Yearbook 2000 “、道路舗装率は World Bank “ World Development Report 1998-1999: Knowledge for Development “ により作成。中国の道路舗装率は公表されていない。
 2. 先進国は NAFTA (メキシコ除く) 及び EU、その他アジアは NIEs (韓国除く) 及び ASEAN4 より構成されており、それぞれの値は単純平均である。

図表 1 - 9 相互補完性指数の動向

1. 1985 年

輸出元 \ 輸出先	東アジア							NAFTA	EU	世界	
	日中韓	日中韓			NIEs	ASEAN4					
		日本	中国	韓国							
東アジア	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	
日中韓	日中韓	0.9	0.9	0.8	1.2	1.0	1.0	1.0	1.1	0.9	1.0
	日本	0.9	0.8	0.6	1.1	1.0	0.9	1.0	1.2	0.9	1.0
	中国	1.2	1.2	1.3	1.1	1.0	1.1	0.9	0.6	1.0	0.9
	韓国	1.0	1.0	0.9	1.3	0.8	1.1	0.9	1.0	1.0	1.0
	NIEs	1.2	1.1	1.0	1.2	1.1	1.3	1.2	0.9	1.0	1.0
	ASEAN4	1.4	1.5	1.9	0.8	1.0	1.2	1.4	0.8	1.0	1.0
NAFTA	1.0	1.0	1.1	0.9	1.0	0.8	1.0	1.3	1.0	1.1	
EU	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.2	1.1	

2. 1995 年

輸出元 \ 輸出先	東アジア							NAFTA	EU	世界	
	日中韓	日中韓			NIEs	ASEAN4					
		日本	中国	韓国							
東アジア	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1	
日中韓	日中韓	1.1	1.0	1.0	1.1	1.0	1.2	1.1	1.0	0.9	1.0
	日本	1.0	0.9	0.8	1.0	1.1	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0
	中国	1.1	1.2	1.4	1.0	0.8	1.1	0.8	1.0	1.0	1.0
	韓国	1.2	1.0	1.0	1.2	1.0	1.4	1.3	1.0	0.9	1.0
	NIEs	1.2	1.1	1.1	1.2	1.0	1.3	1.1	1.0	1.0	1.0
	ASEAN4	1.2	1.3	1.4	1.1	1.1	1.2	1.0	1.0	0.9	1.0
NAFTA	1.0	1.0	1.1	0.9	1.1	0.9	1.0	1.1	1.0	1.0	
EU	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.3	1.1	

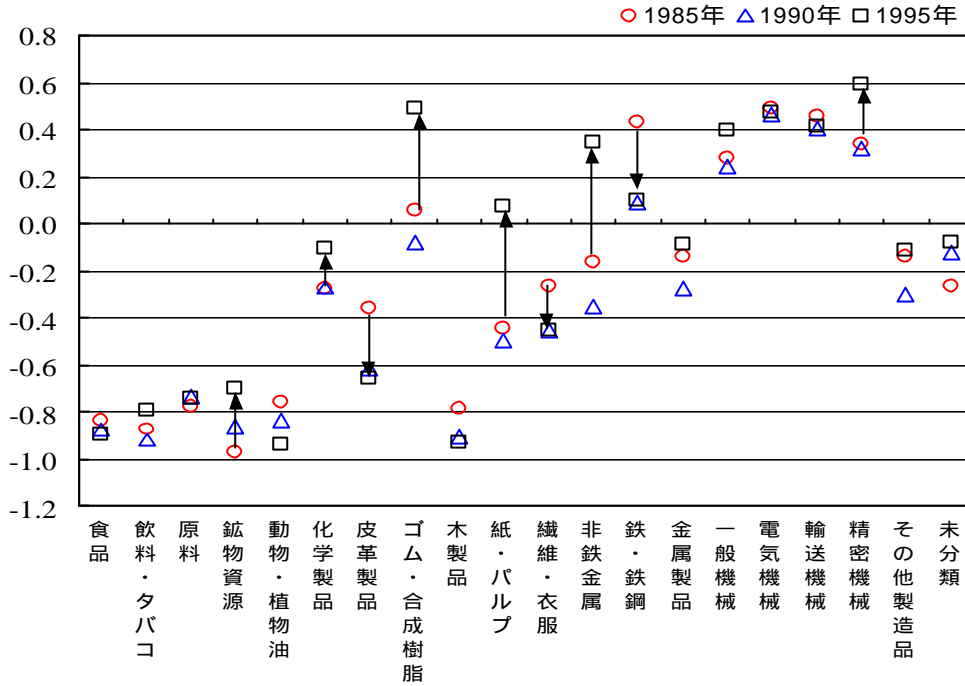
(備考) 1. OECD “International Trade by Commodity Statistics, CD-ROM”、日本貿易振興会 (アジア経済研究所)「AIDXデータベース」により作成。

2. SITC の 2 桁分類で計算している。

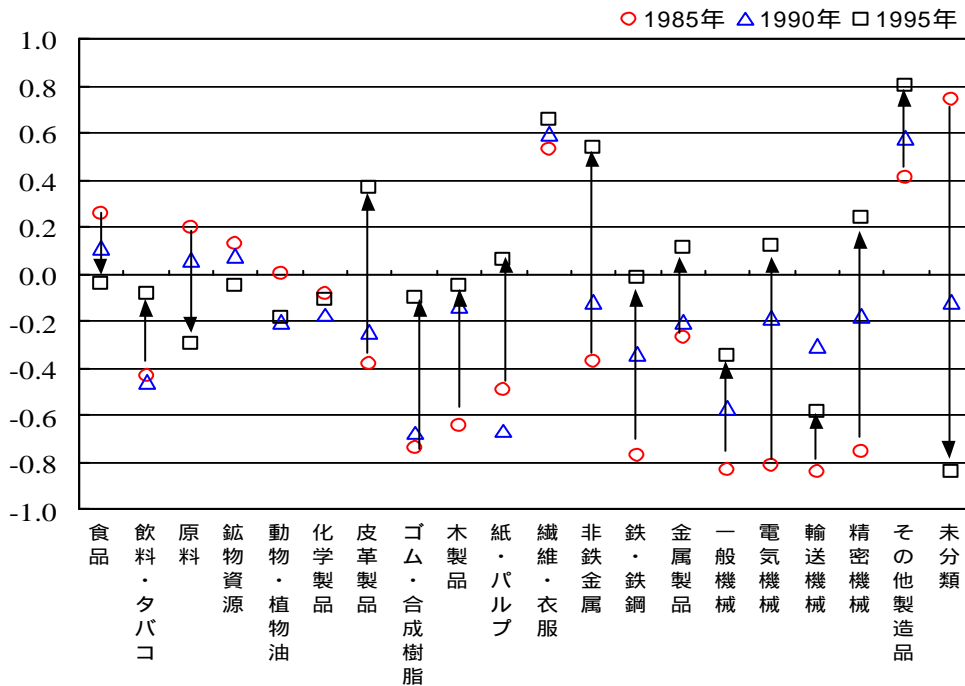
3. NAFTA はメキシコを含まない。

図表 1 - 1 0 日中韓における比較優位構造の変化 (対世界 R S C A)

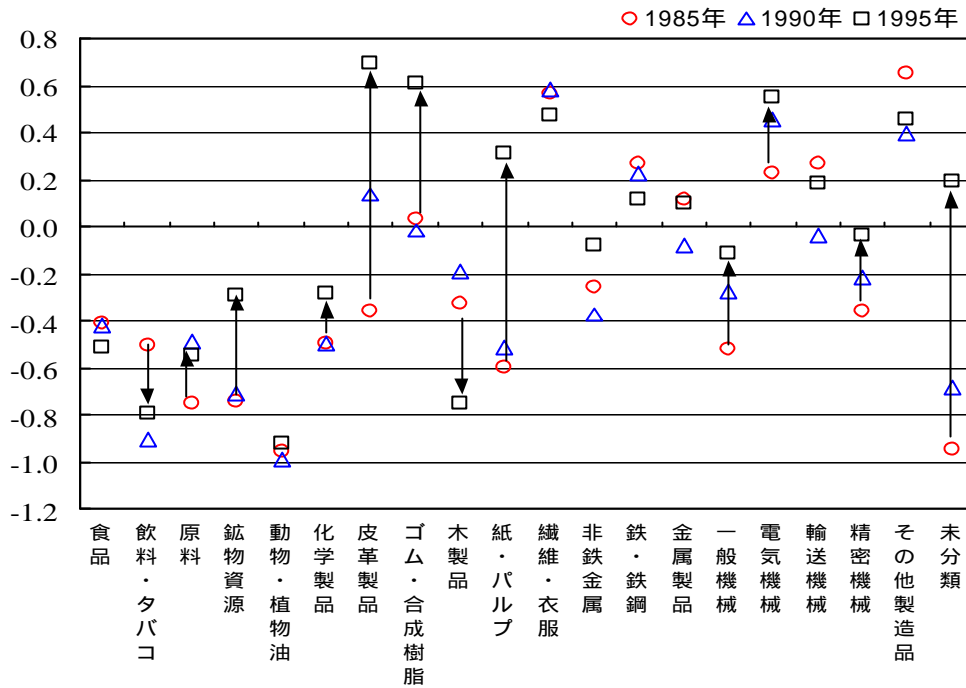
1. 日本



2. 中国



3. 韓国



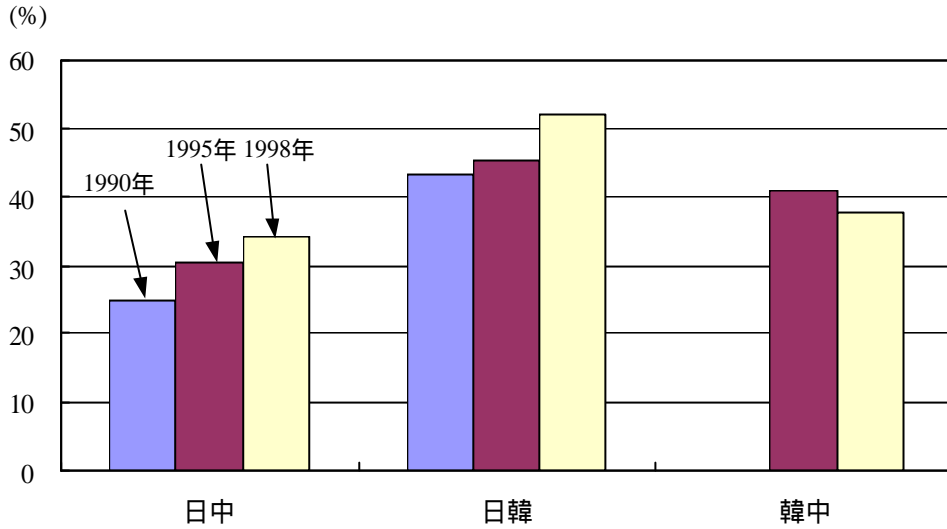
- (備考) 1 . OECD “ International Trade by Commodity Statistics, CD-ROM “、日本貿易振興会 (アジア経済研究所)「AIDXТ データベース」により作成。
 2 . RSCA 指数は以下の方法により算出した。

$$RSCA \text{ 指数} = (RCA - I) / (RCA + I)$$

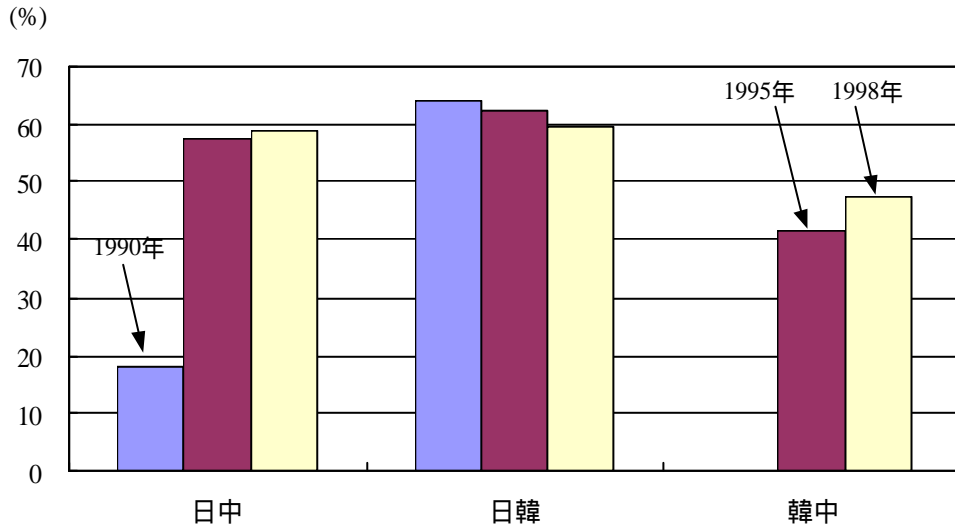
$$RCA \text{ 指数} = (X_i^k / X_i) / (M_w^k / M_w)$$
 ここで (X_i^k / X_i) は i 国の総輸出に占める k 財の割合、 (M_w^k / M_w) は総世界輸入に占める k 財の割合を示す。

図表 1 - 1 1 日中韓の産業内貿易指数の動向

1. 全産業



2. 技術集約型産業



- (備考) 1. OECD “International Trade by Commodity Statistics, CD-ROM”、日本貿易振興会 (アジア経済研究所)「AIDXデータベース」により作成。
 2. 1990年の韓中の輸出入のデータは公表されていない。
 3. 産業内貿易指数 = $\frac{(X^k + M^k) - |X^k - M^k|}{(X^k + M^k)} * 100$ 。ここで “ X^k ” は k 財の輸出 (SITC3 桁分類)、“ M^k ” は k 財の輸入 (SITC3 桁分類) を表す。
 4. 技術集約型産業の分類は、SITC541, 562, 572, 582 ~ 585, 591, 592, 598, 752, 759, 761 ~ 764, 771 ~ 774, 776, 778, 881 ~ 884 である。

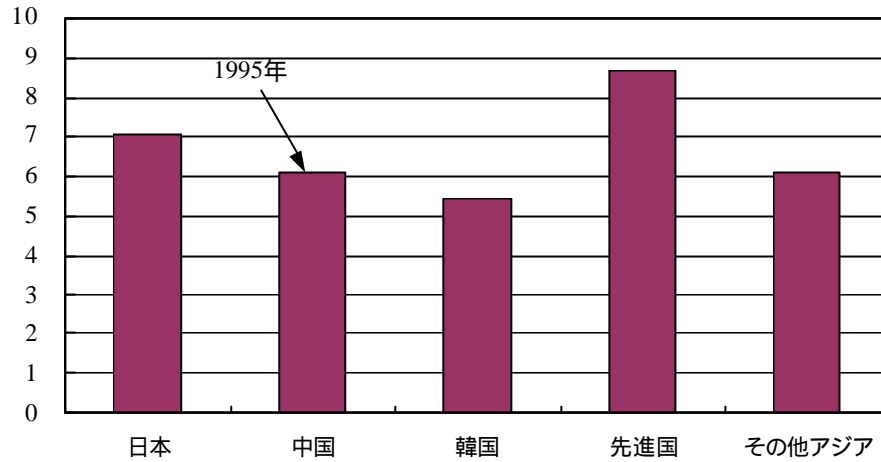
図表 1 - 1 2 二国間の直接投資に影響を与える要因

説明要因		全世界 全世界			先進国 途上国
		推計 A	推計 B	推計 C	推計 D
経済規模	投資国の GDP	+	+	+	+
	受入国の GDP	+	+	+	+
所得水準	投資国の 1 人当たり GDP	+	+	+	+
	受入国の 1 人当たり GDP	-	-	-	-
近接性	二国間の距離	-	-	-	-
	二国とも同一言語		+	+	+
地域協定	二国とも同一地域貿易協定メンバー			+	
	受入国が EU メンバー		+		
	受入国が ASEAN メンバー		+		+
	受入国が NAFTA メンバー		+		+
政治	受入国の政治的安定性		+	+	+
インフラ	輸入国における道路網密度		+	+	+
その他	日本からの投資であること				-

(備考) 1. 詳細な推計結果は参考資料 6 を参照。

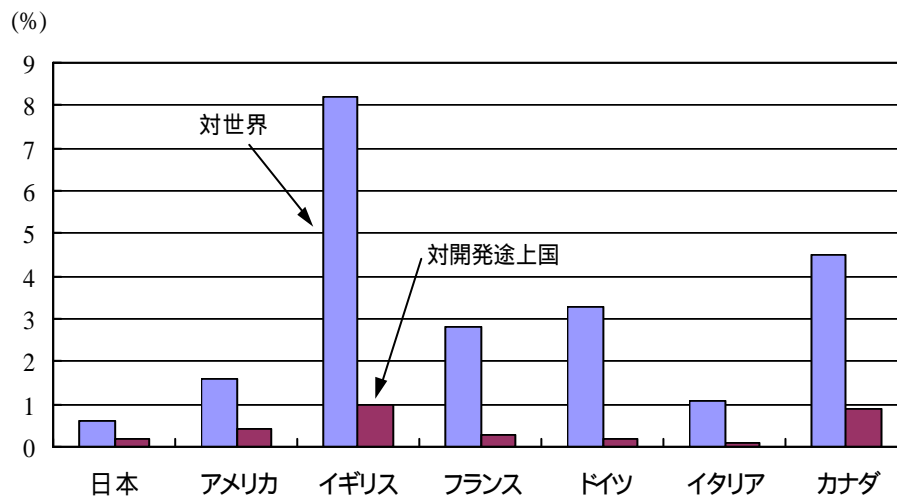
2. 「+」は直接投資に対して正、「-」は負の影響がある。推計に用いなかったか、もしくは用いたが統計的に有意な関係がなかった変数の個所は空欄としている。

図表 1 - 1 3 政治的安定性



- (備考) 1 . International Institute for Management Development, “ The World Competitiveness Yearbook 2000 “ に
より作成。
2 . 先進国は NAFTA (メキシコ除く) 及び EU、その他アジアは NIEs (韓国除く) 及び ASEAN4
より構成されており、それぞれの値は単純平均である。

図表 1 - 1 4 対外直接投資の GDP 比率



- (備考) 1 . 日本銀行「国際比較統計」により作成。
2 . 「対世界」は 1998 年のデータ、「対開発途上国」は 1997 年のデータに基づく。

図表 2 - 1 貿易自由化（日中韓）の GDP、貿易、経済厚生への効果

1. 世界経済への影響

（%、10 億 US\$）

	中国WTO加盟	中国WTO+ホゴ-ル	中国WTO+ホゴ-ル +日中FTA	中国WTO+ホゴ-ル +日韓FTA	中国WTO+ホゴ-ル +中韓FTA	中国WTO+ホゴ-ル +日中韓FTA
世界GDP	0.26	0.56	0.60	0.57	0.58	0.62
世界輸出(数量)	1.56	4.44	4.78	4.47	4.74	5.07
世界経済厚生	84.2	184.9	194.6	185.3	191.7	203.0

2. 各国経済への影響

（%、10 億 US\$）

		中国WTO加盟	中国WTO+ホゴ-ル	中国WTO+ホゴ-ル +日中FTA	中国WTO+ホゴ-ル +日韓FTA	中国WTO+ホゴ-ル +中韓FTA	中国WTO+ホゴ-ル +日中韓FTA
GDP	日本	0.09	0.46	0.64	0.47	0.44	0.61
	中国	4.96	4.97	5.60	4.94	5.21	5.91
	韓国	0.25	0.60	0.37	0.74	1.99	1.74
輸出(数量)	日本	0.51	8.15	9.87	8.37	8.07	9.83
	中国	25.37	27.20	33.49	27.14	32.00	37.49
	韓国	0.70	8.30	7.73	9.24	12.69	12.60
輸入(数量)	日本	1.29	9.37	12.89	9.74	9.15	12.67
	中国	24.39	25.44	31.24	25.36	29.84	34.89
	韓国	1.08	7.79	6.83	8.65	14.77	13.86
経済厚生	日本	13.5	39.6	65.3	41.6	36.7	61.6
	中国	47.6	44.3	46.0	43.8	43.9	47.3
	韓国	3.3	4.1	1.2	4.6	22.5	17.8

（備考）GTAP Version4 により作成。

図表 2 - 2 貿易自由化（日中韓）の輸出結合度への効果

輸出元	輸出先	東アジア							
		日中韓	日中韓			NIEs	ASEAN4		
			日本	中国	韓国				
東アジア	基準年 (1995年)	1.4	1.3	1.2	1.7	1.2	1.6	1.4	
	経済成長 (2005年)	1.3	1.2	1.1	1.4	1.1	1.4	1.3	
	中国WTO加盟	1.2	1.1	1.0	1.3	1.0	1.3	1.2	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.1	1.1	0.9	1.3	0.9	1.2	1.2	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	1.1	1.1	0.9	1.4	0.9	1.2	1.1	
日中韓	基準年 (1995年)	1.5	1.3	1.0	1.5	1.8	1.9	1.7	
	経済成長 (2005年)	1.4	1.2	1.1	1.2	1.6	1.7	1.5	
	中国WTO加盟	1.3	1.2	1.0	1.2	1.5	1.5	1.4	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.3	1.1	1.0	1.2	1.4	1.5	1.4	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	1.3	1.3	0.9	1.7	1.4	1.4	1.3	
日本	基準年 (1995年)	1.6	1.1	-	2.0	2.7	2.2	2.3	
	経済成長 (2005年)	1.6	1.1	-	1.8	2.6	2.1	2.2	
	中国WTO加盟	1.6	1.2	-	1.9	2.6	2.1	2.2	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.5	1.1	-	1.8	2.4	1.9	2.1	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	1.6	1.4	-	2.5	2.4	1.8	1.9	
中国	基準年 (1995年)	1.6	1.9	2.9	-	1.4	1.7	0.8	
	経済成長 (2005年)	1.3	1.5	2.5	-	1.4	1.4	0.9	
	中国WTO加盟	1.1	1.2	2.2	-	1.2	1.2	0.8	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.1	1.2	2.2	-	1.3	1.3	0.8	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	1.1	1.2	2.2	-	1.4	1.2	0.8	
韓国	基準年 (1995年)	2.1	2.3	2.8	2.9	-	2.0	1.7	
	経済成長 (2005年)	1.9	2.0	2.5	2.6	-	1.8	1.6	
	中国WTO加盟	1.9	2.1	2.4	2.7	-	1.8	1.6	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.8	2.0	2.2	2.8	-	1.7	1.6	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	2.0	2.4	1.9	4.3	-	1.5	1.4	
NIEs	基準年 (1995年)	1.9	2.0	1.5	4.1	0.8	1.5	2.3	
	経済成長 (2005年)	1.8	1.9	1.3	3.5	0.8	1.3	2.2	
	中国WTO加盟	1.8	2.0	1.3	3.4	0.8	1.3	2.2	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.7	1.9	1.2	3.4	0.7	1.2	2.2	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	1.7	1.7	1.2	2.7	0.7	1.3	2.3	
ASEAN4	基準年 (1995年)	2.0	2.0	2.7	1.0	1.3	2.6	1.1	
	経済成長 (2005年)	1.8	1.7	2.4	1.0	1.2	2.6	1.0	
	中国WTO加盟	1.8	1.6	2.4	1.0	1.2	2.6	1.0	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標	1.7	1.5	2.1	0.9	1.1	2.6	1.0	
	中国WTO加盟 + ホゴ-ル目標 + 日中韓FTA	1.7	1.4	2.1	0.8	1.0	2.6	1.0	

(備考) 1. GTAP Version4 により作成。

2. 輸出結合度の算出方法については、図表 1-2 を参照。

図表 2 - 3 貿易自由化（日中韓）の日本の二国間貿易収支への効果

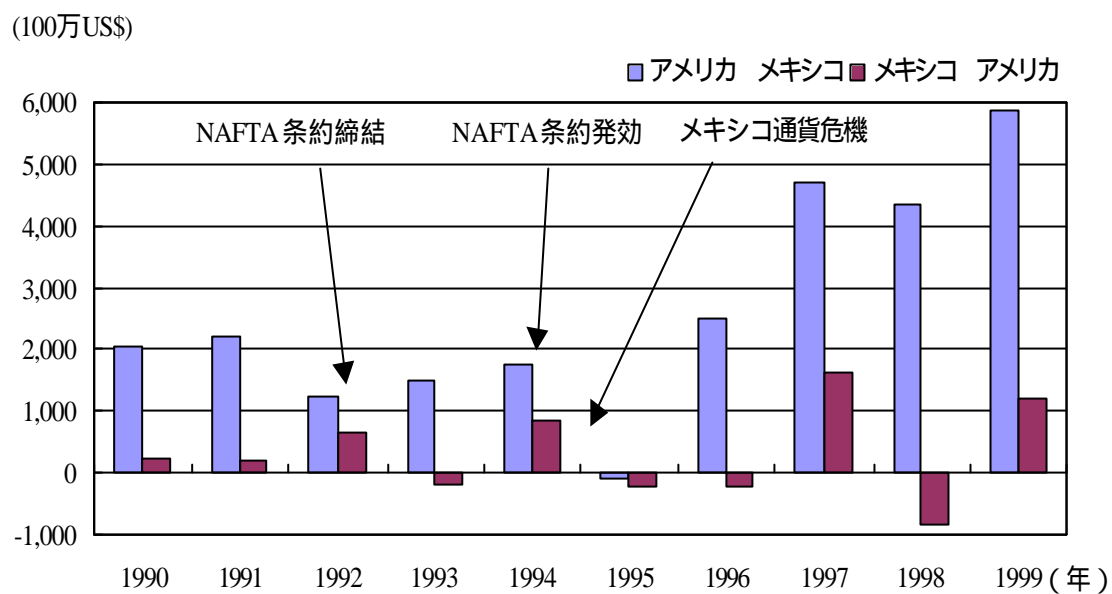
(10 億 US\$)

	中国WTO加盟		中国WTO+ホゴ-ル		中国WTO+ホゴ-ル +日中FTA		中国WTO+ホゴ-ル +日韓FTA		中国WTO+ホゴ-ル +中韓FTA		中国WTO+ホゴ-ル +日中韓FTA	
	中国	韓国	中国	韓国	中国	韓国	中国	韓国	中国	韓国	中国	韓国
農林水産業	0.2	0.0	0.4	0.3	0.6	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.6	0.3
鉱業	-2.6	0.0	-2.8	0.0	-2.9	-0.0	-2.8	0.0	-2.8	0.0	-3.0	0.0
食料品	0.3	0.0	0.2	0.1	-0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.3	-0.0	0.1
繊維・衣類	1.0	0.0	0.3	-0.3	14.2	-0.4	0.3	-0.5	-3.6	0.5	7.0	0.1
パルプ・紙	0.3	-0.0	0.2	0.0	0.6	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.6	0.1
石油・化学	1.7	0.0	1.5	0.4	2.4	0.1	1.4	1.0	1.2	1.1	2.2	1.3
金属	2.2	-0.0	1.8	0.3	1.5	-0.0	1.7	0.7	1.6	0.6	1.4	0.7
輸送機械	2.9	-0.0	2.6	0.3	16.9	0.1	2.5	0.6	1.3	0.4	14.2	0.6
電気機械	4.5	-0.0	4.2	0.1	3.6	-0.0	4.1	0.3	4.2	0.3	3.6	0.4
一般機械	5.0	-0.2	4.2	0.4	12.3	-0.7	4.1	2.8	3.8	1.4	11.9	2.6
その他製造業	-1.4	0.1	-2.2	0.2	1.8	0.0	-2.2	0.2	-3.0	0.7	0.7	0.5
電気・ガス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流通・運輸	-0.3	0.0	-0.5	0.0	-0.9	-0.4	-0.5	-0.4	-0.5	1.0	-1.0	0.1
民間サービス	-0.1	0.0	-0.2	-0.0	-0.3	-0.2	-0.2	-0.1	-0.2	0.4	-0.3	0.1
政府サービス	0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0
合計	13.6	-0.0	9.7	1.8	49.5	-1.2	9.5	4.8	2.9	7.1	37.9	6.9

(備考) 1. GTAP Version4 により作成。

2. 経済成長で得られた均衡解(2005年)と、均衡解に各政策条件を加味して得られた新たな均衡解との差を効果としている。

図表 2 - 4 アメリカ・メキシコ間における対外直接投資の動向



(備考) アメリカ商務省資料により作成。

図表A - 1 留学生（高等教育レベル）の動向

(1000人)

送出国 \ 受入国	日本		中国		韓国		北米		EU	
日本			1.0 (0.8)	8.5 (1.1)	0.4 (0.9)	0.4 (0.9)	13.5	46.3	2.7	7.7
中国	7.0 (12.6)	24.9 (11.0)			0.4 (0.0)	0.5 (1.2)	41.8	75.6	3.4	15.1
韓国	3.2 (3.2)	17.8 (3.4)	0.0 (0.0)	6.4 (0.4)			17.8	36.5	4.5	8.5
北米	1.0	1.3	0.1	2.5	0.3	0.4	15.3	25.7	17.0	25.3
EU	0.4	0.9	0.5	1.9	0.0	0.0	26.1	46.4	62.8	183.3

(備考) 1. 詳細な推計結果は参考資料11を参照。
 2. 左から1985、1995年。括弧内は推計値。

図表B - 1 貿易自由化（日本・シンガポール）のGDP、貿易、経済厚生への効果

1. 世界経済への影響

(%、10億US\$)

	APECホ'ゴ-ル目標	APECホ'ゴ-ル目標 + 日本・シンガポ-ルFTA
世界GDP	0.30	0.30
世界輸出(数量)	2.20	2.21
世界経済厚生	85.2	85.2

2. 各国経済への影響

(%、10億US\$)

		APECホ'ゴ-ル目標	APECホ'ゴ-ル目標 + 日本・シンガポ-ルFTA
GDP	日本	0.23	0.23
	シンガポ-ル	0.99	1.38
輸出(数量)	日本	4.27	4.39
	シンガポ-ル	1.76	1.99
輸入(数量)	日本	4.81	4.95
	シンガポ-ル	2.15	2.50
経済厚生	日本	17.5	17.7
	シンガポ-ル	1.2	1.7

(備考) 1. GTAP Version4 により作成。

2. シミュレーションにおける関税率引き下げの仮定は参考資料 12 を参照。ただし、現時点での各国の関税率はこれとは異なり、特にシンガポールではほとんどゼロとなってしまうが、ここではモデル全体のデータの整合性等の観点から、データベースの値をそのまま利用することとした。なお、別途シンガポールの当初関税率をすべてゼロと置いてシミュレーションを行ったところ、日本・シンガポール FTA が両国の GDP に及ぼす影響は、本文における結果とほぼ同じであった。

図表 B - 2 貿易自由化（日本・シンガポール）の日本の二国間貿易収支への効果

< 対シンガポール >

(10 億 US\$)

	APECホコール目標	APECホコール目標 + 日本・シンガポールFTA
農林水産業	0.0	0.1
鉱業	-0.0	-0.0
食料品	0.0	-0.1
繊維 衣類	-0.0	-0.0
パルプ 紙	0.0	0.0
石油 化学	-0.0	-0.0
金属	0.0	0.0
輸送機械	0.1	0.6
電気機械	-0.3	-0.4
一般機械	-0.6	-0.6
その他製造業	-0.2	-0.2
電気・ガス	0.0	0.0
建設	0.0	0.0
流通 運輸	-0.0	-0.6
民間サービス	-0.1	-0.1
政府サービス	-0.0	-0.0
合計	-1.0	-1.4

(備考) 1. GTAP Version4 により作成。

2. 経済成長で得られた均衡解(2000年)と、均衡解に各政策条件を加味して得られた新たな均衡解との差を効果としている。